

## 新市長に聞く

# 市民と一緒に

# まちづくりの輪を 広げていきたい

任期満了に伴う石狩市長選が5月19日に行われ、20年振りに新市長が誕生しました。  
加藤龍幸市長が目指すまちづくりを聞きました。

——市長になって心境に変化はありましたか？

あらためて市民の皆さんのため、まちの発展のために市政運営を担うということに対し、身が引き締まる思いです。

——市長から見た石狩市の魅力はどこにありますか？

本市は、港と工業団地を有し、大消費地・札幌を背後地に持つこと、また厚田区・浜益区などに豊かな自然があることは、産業面・観光面においても大変優位性があり、魅力だと思います。

中でも石狩湾新港は、今やエネルギー供給の重要な拠点となっており、再生可能エネルギーの集積も進む中、新たに再エネ100%電力を利用するデータセンターの進出も決まっています。新港の発展にご尽力いただいた田岡前市長の意志を引き継ぎ、今後も、持続的な発展に寄与できるよう努めていきたいと考えています。

——市長から見た、市が抱える課題とは？

1次産業における後継者問題や、子どもの医療費無償化、

高齢者対策、人口問題など、今、国全体が抱えているこうした多くの課題は、本市においても例外ではありません。

ただ、例えば農業であれば、本市は農業支援センターなどを通じて農協（JA）ともつながりがあり、共に協力して物事を行う素地があります。また、国の農業次世代人材投資事業を積極的に活用しながら新たな担い手の発掘につなげていくなど、前向きに取り進められることもたくさんあります。

さらに本市はおかげさまで厚田区・浜益区の「地域おこし協力

## 加藤市長の横顔

- 昭和31年生まれ、63歳
- 身長164cm、体重61.5kg、血液型B型
- 愛称は「りゅうこう」
- 好きな食べ物は「メロン」
- 特技は「手話」（と、いつか書きたいと本人談）
- 趣味は温泉巡り、ドライブ、読書（重松清ファン）、映画（特に邦画）、芝居鑑賞

ERISO

えりすいしかりネットテレビでも  
加藤新市長 初登庁6/27  
をご覧ください！



▲第2回石狩市議会定例会において行われた加藤市長による所信表明

まちのために  
「なせばなる」の精神で  
ひた走ります!



隊へ順調に応募がありますので、今後も、これらの地域へ隊員の定住が期待できます。これからも日本の社会問題でもある少子高齢化という課題に向き合いながら、これら諸課題に取り組んで行きたいと思えます。

——選挙活動中、除雪への声が多く寄せられたと聞きました。

約半年間、雪に閉ざされる私たちの生活ですから、皆さんの関心が高いのも当然だと思います。

多くの方から、ここ2、3年市の除雪が良くないという声をお聞きしましたので、まずは現状把握をしっかりと行いたいと思つていきます。オペレーターの高齢化問題、ダンプの確保の問題など、懸案事項もあるはずですので、その実態を担当部に確認しながら市民の皆さんの冬季の安全な暮らしと交通利便性を高めるためにできることは何か、早急に明確にしたいと考えています。

——4年の任期中に市長が特に力を入れたことを教えてください。

たくさんありますが、すぐに思い浮かんだのは手話です。

田岡前市長が全国の市町村で初めて制定した手話に関する基本条例も、今年で6年目になります。この動きが今や全国に広まって、法律化しようという動きにまで発展しています。一自治体からこれだけ発信できたということに、私たちはもっと誇りを持って良いと思えます。

実は昨年、手話の初級講座に通いました。全36回の講座のうち、休んだのは3回だけ。ただし、先週習ったことをすぐに忘れてしまうので行くたびに落ち込んでいました。手話は本当に難しいです。でもおかげさまで手話仲間もでき、これぞ共生社会だなと強く感じる事ができました。

本市では、平成13年に「市民の声を活かす条例」、平成20年には「石狩市自治基本条例」が制定され、「石狩市手話に関する基本条例」へとつながってきた経緯があります。

今後は、それをさらに具現化するというのが私の夢の一つです。

認定こども園や幼稚園保育園でも子どもたちが手話で歌ったり、小学校や中学校でも手話の出前講座があったり、石狩翔陽高校では学生の希望で選択科目に「手話語」の授業もあります。こんなふうに手話に親しむ人々が増えることで、

将来、多くの市民が手話で会話が楽しめるようになれば素敵ですよ。

私は市民の皆さんに、まちのいろいろなことに参加してもらいたいと強く願っています。そういう市民の皆さんの輪が一つ、二つと増え、その輪が大きくなるまちであってほしい。私もこれからどん汗をかいて、市民の皆さんのために積極的に動いていきたいと思えます。

※正式名称は「石狩市行政活動への市民参加の推進に関する条例」



## かとう たつ ゆき 石狩市長 加藤 龍幸

【プロフィール】専修大学卒業後、昭和55年に道庁入り。平成13年～15年に石狩市に出向し、厚田・浜益両村との合併業務に携わる。平成19年、石狩市職員となり、市長政策室長、企画経済部長などを歴任。